

ろうきんSDGs 行動指針

▶ SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに達成をめざす国際目標です。貧困、気候変動などさまざまな課題を解決し、「持続可能」な社会を実現するため17の目標と、そのゴールごとに設定された169のターゲット(個別目標)で構成されています。この目標達成に向けて、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。



▶ ろうきんとSDGs

〈ろうきん〉は、1950年の誕生以来、一貫して勤労者に寄り添い、その生活を金融面からサポートしてきました。2015年度には2025年までの10年間で〈ろうきん〉がめざす姿を描いた「ろうきんビジョン」を策定し、高金利カードローン借換えによる勤労者の可処分所得向上や、非正規雇用の勤労者への融資、行政と連携した失業者への就労支援、金融経済教育の推進など、勤労者の生活向上、就労・社会参加、経済的自立のための支援に取り組んできました。

SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす、いわゆる「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。



▶ ろうきんSDGs行動指針

ろうきん協会は、2019年3月、SDGs推進に向けて、業態統一で取組む方向性を示した「ろうきんSDGs行動指針」を公表しました。

〈静岡ろうきん〉は、これを契機に、「静岡ろうきんSDGs実践方針」を策定（2021年度に一部改定）し、会員・地域社会と一体となって取組みを進め、人々が喜びをもって共生できる社会そして誰一人取り残さない持続可能な社会の実現をめざします。



ろうきんSDGs行動指針 ~2019年3月~

- 〈ろうきん〉は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取り組んでいます。〈ろうきん〉は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取り組むことを通じて、SDGsの達成をめざします。
- 〈ろうきん〉は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。
- 〈ろうきん〉は、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団などの非営利・協同セクター、自治体などとのネットワークを強化し、連携して地域における福祉・教育・環境・自然災害などの社会的課題の解決に取り組んでいきます。
- 〈ろうきん〉は、SDGs達成に向けた様々な取組みやその成果を発信し、〈ろうきん〉を利用することがSDGs推進につながっていくことを会員や勤労者など広く社会に伝えることにより、SDGs達成に向けた共感の輪を広げていきます。

〈ろうきん協会 策定〉

